

道徳だより 第3学年

グッド*ハート Good Heart

木津川市立棚倉小学校 平成29年7月10日

本校では、道徳教育を重点的に研究しています。このお便りでは、各学年で取り組んでいる取組や授業の様子をお知らせしていきます。学校での子どもの様子を知らせてもらおうと共に、お家での話題のきっかけにしてみたいと思います。

「ブラッドレーのせい求書」

3年生では、「家族」について考える学習をしました。

ある朝ブラッドレーは、お母さんの皿の上に請求書を置きます。その請求書には、「おつかいちゃん 1ドル…」と書かれていました。お母さんは、にっこり笑って何も言わず、皿に、ブラッドレーの皿の上に請求されたお金をのせ、それと一緒にお母さんの請求書を置きました。「親切にしてあげた代 0ドル…」。それを読んだブラッドレーは目に一杯涙をうかべ、お母さんにお金を返したというお話です。

子どもたちは、ふだんからお家の人に感謝する気持ちがないわけではありませんが、いつもあたり前のようにしてもらっていることに対して、ついつい当然に思ってしまう子も多いのではないのでしょうか。ふだん、いろいろなことをしてもらっている家族の思いにも触れ、自分も家族の一員として、どんなことができるかということを考えました。大切に育ててもらっている家族の存在に改めて気づき、それぞれの家族への思いを話し合う、いい機会となりました。

○みんなにとって家族とは？

- ・ごはんを作ってくれる。
- ・習い事などのお金をはらってくれる。
- ・どこかに連れて行ってくれる。
- ・しかってくれる。
- ・洗たくをしてくれる。

ブラッドレーのせい求書			
お母さんからのせい求書			
親切にしてあげた代			
病気をしたときの看病代			
服やくつやおもちや代			
食事代と部屋代			
合計	0ドル	0ドル	0ドル
お母さんからのせい求書			
おつかいちゃん			
おまじないした代			
音楽のけいに行きださる代			
合計	4ドル	2ドル	1ドル



○ブラッドレーは、お金がもらえたのに、どうして泣いたのでしょうか。

- ・お母さんがかわいそう。
- ・お母さんにもすごく大切にされていることが、分かったから。
- ・お母さんのお金がなくなるから。

- お母さんはいつもどんな気持ちで、家事をしていたのでしょうか。
- ・ブラッドレーが成長するように。
 - ・笑顔で、元気に育ってほしい。
 - ・大切だという気持ちで。

ブラッドレーのため
大切な家族のため
家族は宝物



わたしは、家族って何のためにあるんだろうとずっと思ってたけど、今日、お母さんの感想を聞いてもらってるんだろうと思いました。これからお母さんとお父さんのお話を聞いてみたいです。

わたしは、お母さんとお父さんが大好きです。いつもやさしいし、だめなことをしたら、きちんとおこってくれるから、いつかお母さんかお父さんがこまっていたら、助けてあげたいです。

家族のみんなは、いつも自分いがないのをして、みんなのことを大切にもらっているから、わたしもみんなのことを大切にしたいです。

わたしが家族のために自分ができることは、もしお母さんやお父さんがかぜをひいたときに、大じょうぶ、と声をかけてあげることです。これからも家族を大切にしたいです。